



日本はどこに向かうのか

高木 善之

●ついに強行可決

安倍首相は、衆議院で強行可決した時、「国民の多くが説明不足と思っているようなので、参議院ではていねいな説明をします」と約束したが、3か月の参議院での審議でも、衆議院と同様にごまかしと平行線のまま強行採決、強行成立させた。

安倍首相は、「国民の多くが理解していないことは承知しているが、やがて理解してくれるはず」などとうそびている。

これでは、「国民の意志、世論を無視するのは独裁政権」と言われても当然。

最大の問題は、安保法は憲法違反であることと、さらに、政府を縛るための憲法を政府が勝手に解釈すること自体、大きな憲法違反である。

(例えるならば、刑務所の規則を囚人が勝手な解釈をすることに等しい)

●政府、その後の動き

1. 現在、アフリカ・南スーダンの国連平和維持活動（PKO）に派遣している自衛隊の武器使用基準を緩和、来年5月から「駆けつけ警護」を実施する方針。
2. 武器の開発、調達、輸出を一手に統括する「防衛装備庁」を設置。
これは戦時中の軍需庁と同じ。武器輸出禁止も解除。
3. 第三次内閣改造は「お友だち素人集団」。素人集団は首相、官僚の思い通りに動かせる。これで戦争できる国へまっしぐら。

●日本の国際的な評価の変化

これまでは「平和主義。アメリカとは一線を画している」という評価だったが、「軍国主義。アメリカと一体化。世界の平和や安定にマイナス。日本は反米勢力の標的になるだろう」という見方に変わってきた。

すでに中国、ロシア、アラブなどから敵視されるようになった。

●私たちの願い、私たちのめざすこと

1. 安保法（戦争法）を廃案に
2. 日本を戦争できる国にする（した）政党、議員を落選に
3. 平和憲法を守り、真の平和主義に舵を切ること

安倍政権の第二ステージ

高木 善之

安倍首相が党大会で総裁に再任され、記者会見した。

そして第三次改造内閣を発表した。先に述べたように「お友だち内閣」。

★アベノミクス第2ステージ「1億総活躍社会」

安倍首相は「アベノミクスは成功した」と自画自賛しているが、その実態は。

「異次元の金融緩和」と称して国家予算（国民の血税）50兆円以上を株式に投入して株価を上げ、その後株価が落ちた。投資した50兆円は戻ってこない。

つまり、富裕層（2割）は潤ったが、庶民（8割）は損をした。

安倍首相は「美しい日本」「積極的平和主義」「女性が輝く社会」など毎回きれいごとを並べるが、やることは真逆。今回も同じ結果になるだろう。

★新たな「三本の矢」

1. 「強い経済」 GDP 500兆円⇒600兆円に
GDPは（収入ではなく）支出だから無駄使いを増やせば大きくなる。赤字予算を増やせば大きくなる。ばらまけば大きくなる。「大量生産、大量消費、大量廃棄」すれば大きくなる。その結果、当然、資源もエネルギーも環境も悪化する。もっと大きな問題は、貧しい者はより貧しく、貧富の格差が拡大することだ。

2. 「子育て支援」 出生率 1.4人⇒1.8人に
少子化の原因は、①生活が苦しい、②現状の社会が不安、③未来に希望が持てないことなのに、「GDP 600兆円社会」は格差を拡大し、庶民をさらに苦しめる。

3. 「社会保障」 介護離職 年 10万人⇒ゼロに
介護離職が8万人⇒9万人⇒10万人と増えている原因は、高齢化、少子化、格差社会なのに、アベノミクスはそれを悪化させ続けている。
そんなこともわからないで、なにを「たわけたこと」を、と言いたくなる。

この現実を多くの国民（8割の庶民）に知らせることで少しでも早く、この失敗政権、金権政権を終わらせるしかない。(ー;) (ー;)y~~~~



『地球は今…』シリーズ 世界の難民は今

『地球は今…』シリーズは、大切なテーマを取り上げ、解決を考えるページです。

シリアの紛争で多くのシリア人が欧州などへ逃れています。
先日、安倍首相は国連で「難民対策のお金は出すが、難民は受け入れない」と表明し、世界に非難と失望が広がっています。（事務局 渡辺裕文）

●全世界の難民の数

6000万人（UNHCR 2015年6月）
内訳 国外へ逃れた人 2000万人（難民という）
国内へ逃れた人 4000万人（避難民という）

●国外へ出た難民が最も多い国

最多 シリア 388万人（人口 2200万人）
2番 アフガニスタン 259万人（ 3000万人）
3番 ソマリア 111万人（ 1000万人）
スーダン、南スーダン、コンゴ、ミャンマー、中央アフリカ、・・・
多くの場合、紛争やテロなどから逃れて、難民となっている。
特にシリア（人口2200万人）は、700万人が国内避難、400万人が国外避難、つまり人口の半分が国内外に避難という異常事態になっている。

●難民受入の大きい国

トルコ159万人、パキスタン151万人、レバノン115万人
イラン 98万人、エチオピア 66万人、ヨルダン 65万人
多くは難民を出している国の周辺国で、多くは貧しい国のため、その国も治安や食料問題で危機に陥り、難民もきびしい生活に陥っている。

今回のシリア難民について

中東地域の民主化（アラブの春）の影響で、シリアでも政府軍と反政府軍による内戦が始まった。さらに隣国イラクから「IS（イスラム国）」が攻め込んできたため、三者による紛争が激化、大量の難民が脱出した。
・国外難民400万人、国内避難民700万人。
（シリア人口2200万人の半数が難民・避難民に）
・国外難民の9割以上は、トルコ（193万人）、レバノン（111万人）、ヨルダン（62万人）、イラク（25万人）など周辺国へ。
・欧州にたどり着いたシリア難民は約43万人（2015年8月）
ドイツ（11万人）、セルビア（8万人）、スウェーデン（6万人）などドイツを中心にさらに難民受け入れを増やす方向

●2014年に認定された難民は、（UNHCR）

・難民申請は163万人！（ロシア27万、ドイツ17万、アメリカ12万）
難民認定・在留許可は61万人（ロシア25万、ドイツ4万、スウェーデン3万）

●なぜ日本は難民を受け入れないのか（法務省）

- ・昨年は難民申請者5000人のうち、難民認定は11名！
人道的な配慮が必要なために在留許可者110人！
- ・日本政府の認める難民は「人種、宗教、国籍、思想を理由に迫害を受けている人たち」であり、世界で増えている「飢餓貧困、環境、紛争による難民」は難民として認めていないため。
- ・日本政府の難民定義は世界の現状とはかけ離れている。

●安倍政権の姿勢

- ★2015年9月30日の安倍首相の国連でのスピーチ
 - ・シリア難民対策に960億円の支援を表明
 - ・一方、記者会見では「シリア難民の受け入れは行わない」と表明
⇒安倍首相は、難民の受け入れを移民問題、人口問題と取り違えている。

- ★2015年1月、カイロで「ISと戦う国々への資金援助」を表明。
そのことで日本人2人が「IS」に殺害された。

- ★中国の南京事件の世界遺産登録への抗議として、ユネスコへの財源支援を見直すことを検討しているが、それはおかしいのではないかと。
ユネスコには多くの役割、事業があり、その一つが日本の主張に反したからといって「資金支援を見直す」のは世界から見てもどうなんだろう。

●今、日本に求められること

- ★安倍首相は「積極的平和主義」を掲げて、憲法違反の軍事強化を強行しようとしているが、これは「軍国主義」そのものだ。

- ★本来の「積極的平和主義」とは
 - ①問題解決は軍事強化ではなく積極的に対話すること。
 - ②紛争や貧困などに対しては積極的に和解の仲介をすること。
 - ③難民など弱者に対して積極的に手を差し伸べること。

- ★「安保法」は不必要、「日米安保条約」で十分
日米安保条約は、安倍首相の祖父・岸信介が結び、大祖父・佐藤栄作が仕上げた。この条約で日本は米国を高額で「用心棒」として雇ったのだ。その用心棒を守ろうという「安保法」はおかしいし、違法なのだ。